

## 現代日本学社会分析研究演習Ⅰ／現代日本学演習Ⅲ「現代日本における社会問題の分析」

## 第2講 引用をたどる

田中重人 (東北大学文学部教授)

[テーマ] 引用・被引用関係を利用した文献探索

## 1 発表予定文献 [授業後に順番を変更]

## 1.1 グループ3 (10/31 発表予定)

- 大木龍之介「越境する『花とゆめ』：羅川真里茂と椿いづみの少女漫画によるジェンダー・トラブル」『JunCture: 超域的日本文化研究』第8号 194-208頁 (2017年) doi:10.18999/juncture.8.194
- 大橋崇行「文学の通俗性と『文豪』：明治・大正期における小説家のイメージ形成とその受容」『成蹊國文』第55巻 28-39頁 (2022年) doi:10.15018/00001292
- 真田和美「三島由紀夫作品研究」『たまゆら』第21巻 1-6頁 (1989年) <https://hijiyama-u.repo.nii.ac.jp/records/1194>

## 1.2 グループ1 (11/7 発表予定)

- 市川純「日本のサブカルチャーにおける「ゴシック」の流入：その概念的拡張過多の問題」『学術研究：英語・英文学編』第57巻 45-64頁 (2009年) <http://hdl.handle.net/2065/29715>
- 藤原萌「異なる恐怖の要因：Jホラーにおける「ニューメディア」と「オールドメディア」の比較」『人間・環境学』第33巻 81-96頁 (2024年) <http://hdl.handle.net/2433/293507>

## 1.3 グループ2 (11/7 発表予定)

- 武田竜太「日本の先住民族・アイヌと「ウポポイ」」『共生科学』第15巻 69-85頁 (2024年) doi:10.32137/kyosei.15.0\_69
- 山本龍治「牡鹿半島における捕鯨業の変遷と鯨類資源の活用」『日本海水学会誌』第75巻 3号 141-144頁 (2021年) doi:10.11457/swsj.75.3\_141

## 2 課題

下記のことを調べる。

- 各雑誌の出版社とその出版目的、歴史など
- 各論文の性質 (普通の論文か？査読はあるか？など)
- 印刷版の所在

## 3 宿題：各自の論文で参照されている文献の同定 (11/11まで)

自分の選んできた論文で参照されている文献を、すべて同定する。ここで「同定」というのは、その文献が入手できる状態になること (図書館の所蔵やオンライン文献のURLがわかる、など) を指す。実際に入手しなくてもよい。

簡単には同定できなかったものについて、つぎのことをまとめる：

- その文献の書誌情報
- 同定に苦労した (または同定できなかった) 原因